

令和6年度第2回葛飾区環境審議会 議事録要旨

【日時】 令和7年3月18日（火） 午前10時00分～午後0時0分

【会場】 立石地区センター 多目的室

【出席委員】 崎田委員、藤野委員、矢後委員、竹内委員、赤澤委員、沢崎委員、島田委員、関根委員、田中委員、鳥山委員、武者委員、菅原委員

【欠席委員】 下井委員、藤田委員、湊委員、池上委員、大川原委員、大友委員

【事務局】 宮地環境部長、木下環境課長、柿澤リサイクル清掃課長、久保清掃事務所長、秋元建築課長、三木、村上、山崎

【次第】

1 開会

2 議事

- (1) ゼロカーボンシティ特別区に向けた取組について
- (2) かつしかエコ助成金の拡充及び見直しについて
- (3) かつしか自然里親制度の試行実施について
- (4) 全国みどりと花のフェアかつしかについて
- (5) 3Rの進捗状況について
- (6) 葛飾区建築物再生可能エネルギー利用促進計画について

3 閉会

発言者	審議内容
会長 事務局 (環境課長)	<u>1 開会</u> 定刻になりましたので、これより令和6年度第2回葛飾区環境審議会を開会いたします。 司会・進行を務めます会長の崎田と申します。 どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、議題に入る前に、事務局より連絡事項がございます。 (委員の紹介、出欠の報告及び資料の確認を行った。)
事務局 (環境課長)	<u>2 議事</u> <u>議事(1) ゼロカーボンシティ特別区に向けた取組について</u> (資料1に基づき、説明した。) (委員等からの主なご意見は以下のとおり)
委員	ゼロカーボンシティ特別区を目指す取組がしっかりと現場で実施され、また他の区と連携して展開されていることはとても良い。 また、脱炭素セミナーでは各区長が登壇されるなど真剣に取り組んでいる点も評価できる。 ゼロカーボンシティの実現に向けては、建物の断熱性能の向上や再エネ電力をどのように調達するかなどを今後一層取り組んでほしい。 着実に進んでいることは非常にうれしく感じる。
委員 事務局	脱炭素セミナーに参加し、メガバンク、信金中金、東栄信用金庫から話があったが、メガバンクと信用金庫が相手にする中小企業は規模感が違うため、その地域に即した形で考えていく必要がある。 また、信金中金の事例紹介は非常におもしろかった。こういったセミナーは継続して開催していただきたい。 中小企業の脱炭素を進めていくためには関心のある事業者が集まって組織化していく必要もあるのではないかと感じている。 <u>議事(2) かつしかエコ助成金の拡充及び見直しについて</u> (資料2に基づき、説明した。)

(環境課長)	(委員等からの主なご意見は以下のとおり)
会長	令和元年度と比較して6年度は申請件数が 3.5 倍に増えており、かなりの数である。申請しやすく、事務作業も効率的に実施していく必要があるのではないかな。
事務局 (環境課長)	現状は、人を増やして対応しているが、区民の利便性や事務の効率化を図るため、今後は電子申請も視野にいて検討を進めていく予定である。
	<u>議事（3）かつしか自然里親制度の試行実施について</u>
事務局 (環境課長)	(資料3に基づき、説明した。)
	(委員等からの主なご意見は以下のとおり)
会長	里親となっていた方に写真を撮ってもらい、撮った写真を展示するなどみんなで楽しめる工夫をしてもらえるとありがたい。
委員	生物多様性協議会は、令和13年度までに葛飾区の人口1%、約5,000人の区民に協議会へ参加してもらいたいと考えている。 メダカやフジバカマの里親制度などにより、区民の活動へ広げていきたい。目標達成に向けては、人の輪を広げていく必要がある。花の団体も多く活動しているため、横連携も考えていかなければならない。 また、学校でもメダカを育てているところがある。こうした学校を増やしていくことが大切であり、学校で育てることで、児童・生徒の発表の機会にもつながられる。
委員	東京都のメダカは絶滅寸前である。ぜひ里親制度は実施していただきたい。提案としては、里親になっていた方に認定書を交付するなど区から表彰するような仕組みがあると区民のモチベーションも高まるのではないかな。 <u>議事（4）全国みどりと花のフェアかつしかについて</u>
事務局 (環境課長)	(資料4に基づき、説明した)
	(委員等からの主なご意見は以下のとおり)
会長	東京理科大学との連携について教えていただきたい。

事務局 (環境部長)	東京理科大学はフェンスがなく、周辺は都市公園に囲まれており、キャンパスと公園が一体的なものとなっている。大学としても、公園はキャンパスの一角として捉えており、地域としても大学は街の一部と捉えている全国的に見ても非常に珍しい関係である。また、東京理科大学とは地域協定も締結しており、関係は深い。こうした流れもあり、一緒に連携して進めていくこととしている。
委員	本フェアについて、花とみどりといった視点だけで開催するのではなく、みどりと花があるライフスタイルは豊かな生活につながるとか、みどりと花は地球温暖化防止につながるとか、花を植えることで昆虫が増え生物多様性の向上につながるとか、こうした生活がウェルビーイングにつながるとかももう少し大きな視点をもっていただきたい。 広報の仕方としても、みどりと花の取組が地球環境の大きな部分につながっていく。だから、みどりと花のライフスタイルをみんなでひろげていきましょうといったものが良い。 また、フェアにはお客さんが来るではなく、自分たちが参加する、そういった暮らしをするといった盛り上げ方もよい。これまで葛飾区が取り組んできたことが生きてくるのではないかと感じる。
委員	本フェアはメイン会場のにいじゅくみらい公園だけでなく、葛飾全体で実施する。葛飾区にある各団体は各エリアに点在しているため、エリアごとに連携を深めていくことが大切である。
委員	本フェアを単なるイベント消化にするのではなく、もっと次につながるよう取り組んでいただきたい。 例えば、若い世代を環境ベンチャー企業から発掘したり、こうした企業に区として支援したりすることで仕事にもつながったりする。 また、先ほどの里親制度を活用すれば、生物多様性協議会が掲げる 5,000 人はすぐに到達するのではないかと感じる。 今お話しした内容は一例であり、本フェアを通じて地域経済の活性化等様々なものにつなげていくことがこのイベントの価値であると考えている。
委員	本フェアは、翼エリアやモンチッチエリアなど葛飾を代表する世代を超えたコンテンツがうまく表現されている。国内向けだけでなく、インバウンド向けにも発信できる。 発信の場では、みどりと花を大事にすることがどのように地域の豊かさにつながっているかなどを国内外に伝えていくことは非常に大切である。こうした発信がフェアに来た方々の取組につながっていくとさらに良い。そういったストーリーをみどりと花に携わっている方々がそれぞれの場所で語っていただく。そのような機会に本フェアはできると思う。

委員	ちらしにあるロゴマーク（Bloom Your Future）一つ一つの色に込められた意味をもっと前面に出していったほうが良いと思う。 <u>議事（５）３Ｒの進捗状況について</u>
事務局 (リサイクル清掃課長)	(資料５に基づき、説明した) (委員等からの主なご意見は以下のとおり)
会長	区民の皆様の協力により葛飾区のごみの量は着実に減っている。今後も継続的に取り組むことでもっと減らしていけると思う。令和１３年度の目標よりもずっと下にいけると感じる。
会長	みどりと花のフェアかつしかではキッチンカーなどが出展されると思うが、ごみが出ないような取組、例えばカトラリーを使わずにプラスチック容器を使用して使いまわすなどについて考えていていただきたい。そういった取組を発信することで、ごみを出さない暮らしは気持ちが良いとなる。地域で開催するイベントでもやってみようかなといった意識が醸成される。 今年開催される大阪万博のキッチンコーナーではリユース食器が使われるなど徹底されている。マイボトル・マイバッグの持参を推奨しているほか、給水場所として８０か所の給水スポットを設置するなどしっかりと運営計画を立てている。本フェアにおいても気持ちの良い運営をお願いしたい。 <u>議事（６）葛飾区建築物再生可能エネルギー利用促進計画について</u>
事務局 (建築課長)	(資料６に基づき、説明した) (委員等からの主なご意見は以下のとおり)
委員	工務店が本制度を生かせることが大事であり、地元の工務店が大活躍していただくことが重要である。良い家を良いお値段で提供していくことで、地域の中でお金をまわしていくことが大切である。 <u>全体を通して</u>
委員	環境マインドの高い企業が葛飾区内に拠点を作ろうとしている。こうした企業とまちづくりを含めて密につながりを持つことが今後大切である。また、そういった企業の思いと地域が一緒になって、街づくりに取り組めたら良い。 また、表にはでていないが素晴らしい省エネ技術をもった企業も葛飾区内にはある。そういった企業の意見を聞くことも大きな推進力になると思う。

委員	みどりと花のフェアかつしかはイベントをやるだけでなく、大きな広がりを持った活動になっていくと感じる。自治町会も一緒にイベントを盛り上げていきたい。
委員	区を取組をInstagramのリールやユーチューブのショートなど30秒以内の動画で発信していったらどうか。例えば、里親制度の実施では、生物の成長記録を1か月ごとにつなげて動画としてまとめたり、みどりと花のフェアかつしかのイベント告知や花壇活動のビフォーアフターなど活用できる幅は極めて広いと感じる。また、写真投稿よりも短い動画のほうが影響力は大きい。 また、環境に関する取組をより多く発信していくことで環境活動の盛り上がりにつながるだけでなく、環境に関わる活動をしている団体との新たなつながりが生まれたりする。 そのほか、みどりと花のフェアかつしかを盛り上げるためにInstagramのハッシュタグを使用したフォトコンテストを実施するのも良い。本フェアにきた人に専用のハッシュタグ入れて投稿するとちょっとしたオリジナルグッズがもらえるなどもおもしろい。
委員	葛飾区を取組を外に届けてくれるような発信者となる人が大切である。また、これまで取り組んできた歴史を次の世代に届けていくことも大事である。自分事としてみんなで取り組めると良い。
委員	ハードの街づくりにも力をいれていただきたい。公共施設については、再エネ省エネは率先して取り組んでいただき、見本となるような公共建築物を建築し、それこそショーケースとなるような取組も良い。 また、駅前再開発が今後進んでいくと思うが、地区単位でのエネルギー効率を実現できる街づくりやインフラ整備などにも取り組んでいただきたい。 一つの建物では実現が難しい課題も地区単位で行うことができればより大きな効果を生み出していけると思う。
委員	持続可能な保全のためには、次世代につながる取組が必要である。ぜひ次につながる取組を実践してほしい。 <u>7 閉会</u>
事務局 (環境課長)	今回、委員の皆様からいただきましたご意見等につきましては、発言者の氏名を伏せた形で議事要旨としてとりまとめ、ホームページに公開させていただきます。 次に、次回の葛飾区環境審議会についてご案内させていただきます。次回の開催は令和7年秋ごろを予定しております。詳細な日時・場所が決まりましたら、書面にて通知させていただきます。

会長	引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。 事務局からの連絡は以上です。 これをもちまして、令和6年度第2回葛飾区環境審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。 .
-----------	--